

北海道教科研究集会

「若い教師の学び合いの場づくり」

2014年12月6日(土) 14:00～
北海道クリスチャンセンター2階ホール

佐藤隆 都留文科大学教授講演

霜村三二 首都圏学びをつくる会世話人報告
20代の小学校・中学校教師からの発言
みんなでの語り合い

教師バッシングが長く続き、教育行政からの指示伝達の量も内容も年々増加し、朝早くから夜遅くまで学校で働く状況、様々な精神的な負担が増えてきています。

そんな中、若い教師たちを支えたいというベテラン教師と大学教員によって首都圏で12年前に生まれたのが、「学びをつくる会」でした。その創設者の一人の今泉博さんは、教育大釧路校に赴任後、
<学びをつくる会から生まれた本>
釧路でもその活動を行ってきています。

北海道でも、小中学校の教員採用数が増え、若い教師が増加しています。仕事の多さと一方での教師としての夢・思いは、首都圏と同じです。



そして、この北海道(札幌)で長年、民間教育研究運動の中心として、素敵な教育実践の創造者として活躍してきたベテラン教師から、若い教師と教師を目指す学生たちを支える活動をしていきたいという声があがりました。

阿部俊樹さん、太田一徹さん、飛田登美夫さんからです。大学教員の方の協力、退職した先輩教師の皆さんの力で若い教師・学生のみんなを支える、学び合う会をつくるきっかけにこの研究集会がなればと思います。

学びをつくる会の大学教員の中心メンバーであり、若い教師・学生のための本を書いている佐藤隆さん、首都圏学びをつくる会世話人の霜村三二さんを迎え、みんなでの語り合う場を持ちたいと思います。

どなたでも参加できます。同僚・友人とご一緒に、お一人でも…。ぜひご参加ください。

教師のしごと

泣いて、笑って、ちょっぴり元気

子どものそばに 立ちつづけたい!

“失敗”しても大丈夫!
あなたと同じように
“悩み”“苦しんだ”仲間たちがここにいる。
いま、教師生活をつづけていくうえで
大事なこと……。

佐藤隆・山崎隆夫と
25人の若い教師たち



★14：00～17：00の研究集会の後、北海道版学びをつくる会について語り合う懇親会も行います。

<佐藤隆都留文科大学教授・教科研副委員長>